

# あけましておめでとうございます



みんなでお集まり  
集合写真はこちら



新年のあいさつこちらから

お正月のブログ



# 潮寿荘 だより

松本キヨ

令和8年1月15日発行  
発行：特別養護老人ホーム  
**潮 寿 荘**  
記事：1月担当潮寿荘職員  
編集：潮寿荘だより編集委員  
題字：松本キヨ (96才)

12月27日、令和7年最後の行事『もちつき大会』を、潮寿荘、潮太郎、はこだてつちよ、三事業所合同で開催しました。進行は来年3月に第一子が生まれるハンナ介護士と主任泉介護士です。餅搗き準備の間にハンナ介護士の出産の話をするとう入居者様のお祝いの言葉が飛び交いました。例年は餅搗き機で半分搗いてか

## はいしょー!! 餅つき



← もちつきの動画はこちら

粥や刻み食の人もお餅食べます。来年も入居者様も職員も健康で楽しく過ごせたらと思います。僕、介護士泉の来年の目標ですが、年末に風邪、腰痛、血圧上昇全てやりましたので、新しい年は健康・家族第一でやりたいと思います。新年も皆様よろしくお願ひします。(子供の風邪がすぐ移るめっちゃ体が弱い箱入り息子介護主任・泉慶佑)

ら日に移すのですが今年は米の状態から気合いを入れて搗きます。そのためトッパバターはパワーのある介護士から。来年の抱負を述べてから餅を搗きます。池浦介護士は「10kg痩せる!」と言ってからつき始めました。続いて入居者様。それぞれの事業所の入居者様が順番に「来年の抱負」に答えてから餅を搗きます。今年百歳を迎えられたトヨさんは「みなさんのお陰で百歳になれました。ありがとうございます。今年も元気で過ごすために餅を搗きます!」と言ってカー一杯杵を振り下ろしていました。最後に施設長がトリを務め『もちつき』は終了。そしてその後は、『おたのしみ』『つきたて餅』でお昼ご飯です。あんこ、きなこ、ゴマをまぶしたお餅が皆さんのお腹に入っていきます。今年は餅搗きの後のお餅を食べ過ぎてしまったため、三が日のお餅が足りなくなってしまうました。なので31日に追加で餅を搗いて申し餅にしました。潮寿荘では、お

## 2月のよてい

- 3日(火) 節分、特別喫茶
  - 4日(水) 誕生会
  - 5日(木) 理髪
  - 9日(月) 鍋会食
  - 11日(水) 建国記念祝食
  - 19日(木) 理髪、火災避難訓練
  - 23日(月) 鍋会食
- 花クラブは11日と25日です!  
すべてうまくいきますように...



# クリスマス会



2025年12月22日  
・グラタン・ミニアメリカンドック・ポテト  
・アップルケーキ・フライドチキン  
・カレーピラフのホワイトソースがけ

12月22日我らが潮寿荘のクリスマス会が開催されました。職員はサンタさんの扮装。利用者さんたちは今か今かとサンタさんの登場を待ちわびておりました。そんな中マリア・キャリーの誰でも知っているあの曲(曲名忘れた)と共に二匹のトナカイが引くソリに乗ってサンタさんが登場。「メリークリスマス！」の掛け声と共にプレゼントを配って周る施設長そっくりのサンタさん。プレゼントを受け取りニコニコ笑顔の利用者さん。プレゼントを渡し終えて万雷の拍手の中、一陣の風のように爽やかに退場するサンタさん。

さていよいよクリスマス会は会食へと移ります。オードブル皿には怒涛の豪華メニューの目白押し。利用者保子さんの「メリークリスマス！」という乾杯の音頭と共に会食スタート。調理員さんの腕によりをかけた料理に利用者さん一同舌鼓。



動画  
みね

もう少し頑張ってトイレ行けるようになればいいけど今は全然ダメです。でも、ばあちゃん頑張ります。

ユエ子様(77才)  
ミツエ様(89才)

今年は仕事では行事で亀の着ぐるみを着まくって沢山盛り上げたいのよ、プライベートではお小遣い5千円から20%アップを目指します。

相談員 沖本

介護士 青木

私は3人の娘がいます。その娘達の保育園での運動会で綱引きがあり去年はボロ負けしたので、今年は筋トシを頑張って完全勝利してカッコイイお父さんと言われるように頑張りたいです。

今年に絶対豚が食べたいです。そのためいっぱい健康。

ユエ子様(77才)

## 新年の抱負聞いてみました

## クリスマスマジック

お腹も一杯になって一休みの後は舞台をサ高住ホールに移して余興の部が始まりました。サ高住の入居者さんも見に来ています。なにせ今回は大とりに手品師渡邊和弥さんによるマジックショーが控えております。まず初めの出し物は介護職員によりますダンス「クリスマスマックス」一糸乱れぬダンスの後は、事務所職員によるハンドベル演奏。2曲目の「きよしこの夜」が始まると自然と歌い出す入居者さん。素敵な音色が場内に響き渡りました。

せるマジック。シーツの向こうで体が浮いたと思った瞬間シーツがハラリ。そこには浮いてるはずの人を必死に持ち上げていた青木さんの姿が。そして遂に本物の手品師渡邊さんのショータイムが始まりました。千円札が一万円札に変わったたりピロリンとお札が伸びたり、一本のロープが二本になったり結び目が取れたり。ラストにはシルクハットの中から小さなプーさんがこんにちは。皆さんに手を振ってご挨拶。渡邊さんの華麗な手捌きに魅了されて大満足の利用者さん。鳴りやまぬ拍手を送られていました。かくして今年のクリスマス会も皆さんからの「楽しかった」「いやあ面白かった」のお言葉を頂き大成功で終了しました。

(50才を超えコロッケ、ポテサラなど芋料理に目覚めた介護士・内村)



## クリスマスマジック



お正月に飾る  
主ゆ玉作り

## 大晦日は絶対くじら汁



2025.12.31

これを食ばなまははまらない

